

重要取組シート

上下水道局

経営企画室、総務部、サービス管理部

取組項目	DXの推進
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務課題をデジタルで解決する DX 推進は、他事例の研究や実証実験の実施等により、業務の課題に即した技術の導入を検討し、効果的に推進することが重要である。 ■ 令和 7 年度は、予算・決算事務の BPR により蓄積した業務工程分析や自動転記機能開発等のノウハウを伴走支援形式で局内各部へ共有することで、水平展開を推進した。今後は、これらのノウハウを各部内で自主的に活用・展開できる仕組みを構築する必要がある。 ■ スマートフォンアプリ「すいりん」の普及促進と、申請手続きをオンライン化した給排水設備工事管理システムの運用を通じて、来庁レス・キャッシュレス・ペーパーレスの実現による市民サービスの向上及び業務効率化を図っている。窓口業務の構造改革と更なる付加価値の創出に向けては、アプリ登録率の更なる向上と給排水設備工事等に係る電子申請率 100%の達成に向けた取組が必要である。 ■ スマートメーターの導入に向けて、全国各地で産学官が連携した実証実験等が進んでおり、将来的な検針員の不足をはじめ、データを活用した不明水対策や災害発生時の応急普及への活用など、新たな付加価値の創出が期待されており、本市においても全戸導入を視野に入れた検討・取組を加速させる必要がある。
取組の内容	<p>(取組 1) 他事例の研究や実証実験の実施等</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 水道 ICT 情報連絡会などを活用し、業務上の課題に即した事例研究を推進する。 ■ 実証実験の実施やフィールド提供を通じて、新技術の導入可能性の検証及びその有効性を検討する。 <p>(取組 2) BPR の局内展開による業務の持続性確保・効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 局内での BPR の取組を継続的に実践することで、持続的な業務改革を推進する基盤を構築する。 ■ 伴走支援を受けた職員によるノウハウの伝達、部内において BPR の取組を主体的に推進し得る職員を育成・指導する仕組みを構築する。 <p>(取組 3) 窓口業務の効率化による市民サービスの向上・業務の構造改革を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「すいりん」の新機能拡充及び広報活動の強化による、アプリの魅力と認知度を向上させることで、利用者数の増加につなげる。 ■ 給排水設備工事管理システムの導入に伴う電子申請率の向上に向けた取組の推進及び更なる付加価値の創出に関する検討を進める。 ■ スマートメーターの全戸導入を視野に入れて、民間事業者との連携による実証実験を引き続き実施しつつ、局内プロジェクトチームによる検討を進め、導入効果の高い分野からの先導的な導入を順次開始する。

スケジュール	前期 (～9月)	<p>(取組 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 水道 ICT 情報連絡会による業務課題に対する技術提案の研究 (6月) <input type="checkbox"/> 実証実験やフィールド提供の実施による新技術の導入検討 (通年) <p>(取組 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 部内における伴走支援体制の構築 (4月) <input type="checkbox"/> 部内で抱える業務課題に対する BPR の取組を自律的に推進 (通年) <input type="checkbox"/> 実践した取組の効果検証及びブラッシュアップを実施 (通年) <p>(取組 3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「すいりん」の新機能に係る仕様等の確定 (～5月) <input type="checkbox"/> 「すいりん」の新機能の改修及び運用に向けたフローの策定 (5～3月) <input type="checkbox"/> 媒体や場所、タイミング等の接触機会を意識した新たな広報の実施 (通年) <input type="checkbox"/> 新たな給排水設備工事管理システムの設計・開発 (7月末) <input type="checkbox"/> 給排水設備工事管理システム運用に向けた各種テストの実施 (8～11月末) <input type="checkbox"/> 紙申請の指定業者に対する電子申請の利用促進を実施 (通年) <input type="checkbox"/> AI を活用した設計審査等の検討 (通年) <input type="checkbox"/> 民間事業者との連携による実証実験 (通年) <input type="checkbox"/> スマートメーターの導入に向けたプロジェクトチームでの検討 (通年) <input type="checkbox"/> 「New-Smart プロジェクト」等での情報収集 (通年)
	後期 (～3月)	<p>(取組 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 運営課題等の発信による技術提案の募集 (12月頃) <input type="checkbox"/> 実証実験やフィールド提供の実施による新技術の導入検討 (通年) <p>(取組 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 取組による成果事例の局内共有・ノウハウの蓄積 (3月) <input type="checkbox"/> 部内で抱える業務課題に対する BPR の取組を自律的に推進 (通年) <input type="checkbox"/> 実践した取組の効果検証及びブラッシュアップを実施 (通年) <p>(取組 3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「すいりん」の新機能の改修及び運用に向けたフローの策定 (5～3月) <input type="checkbox"/> 「すいりん」の新機能の広報 (3月) <input type="checkbox"/> 媒体や場所、タイミング等の接触機会を意識した新たな広報の実施 (通年) <input type="checkbox"/> 給排水設備工事管理システム運用に向けた各種テストの実施 (8～11月末) <input type="checkbox"/> 利用者向けのシステム操作・運用研修を実施 (11月末) <input type="checkbox"/> 新たな給排水設備工事管理システムの運用開始 (12月) <input type="checkbox"/> 窓口に申請用 PC を設置し、電子申請へ誘導 (12月～) <input type="checkbox"/> 紙申請の指定業者に対する電子申請の利用促進を実施 (通年) <input type="checkbox"/> AI を活用した設計審査等の検討 (通年) <input type="checkbox"/> 民間事業者との連携による実証実験 (通年) <input type="checkbox"/> スマートメーターの導入に向けたプロジェクトチームでの検討 (通年) <input type="checkbox"/> 「New-Smart プロジェクト」等での情報収集 (通年) <input type="checkbox"/> 導入効果の高い分野からの部分的な先行導入 (～3月)

	次年度以降	(取組 1) <input type="checkbox"/> 実証実験やフィールド提供の実施による新技術の導入検討 (取組 2) <input type="checkbox"/> 部内で抱える業務課題に対する BPR の取組を自律的に推進 (取組 3) <input type="checkbox"/> 「すいりん」の新機能の運用及び広報による普及促進策の実施 (R9.4～) <input type="checkbox"/> 電子申請の普及促進及び窓口業務の構造改革の推進 <input type="checkbox"/> スマートメーターの導入効果の高い分野からの部分的な先行導入 (R9～13) <input type="checkbox"/> スマートメーターの本格導入のスキーム確定 (R11) <input type="checkbox"/> 検定満期 (8 年間) に伴うメーター取替えに合わせたスマートメーターの本格導入 (R14～22)	
進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
堺市基本計画 2030	該当する 施策	4- (1) 行政のデジタル化、スマートシティ推進による暮らしの質の向上	
	寄与する KPI	-	目標値 (2030 年度) -
堺市SDGs 未来都市計画	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 9	産業と技術革新の基盤をつくろう
	寄与する KPI	-	目標値 (2030 年度) -